

1. 競技規則について

本大会は 2020 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 競技場の使用と練習について

(1) 本競技場並びに小机フィールド競技場は全天候舗装のためスパイクの長さは 9mm 以内とする。

(競技規則 143 条 2・3・4・5・6 参照)

(2) 10 月 15 日 (木)～10 月 18 日 (日) の期間に「練習会場使用日程」に示す時間帯で、

『13. 練習会場の使用について』にもとづき練習ができる。(競技役員の指示に従い練習すること)

(3) 更衣は、本競技場、および、小机フィールドの男女更衣室を準備する。貴重品は各自で管理する。

(4) 救護本部は競技場内の 208 号室に設置する。

3. 招集について

(1) 招集所はマラソングート (100m スタート地点後方：2 階外周路 柱番号 273～275) に設ける。

(2) 出場するチームは競技者 (4 名) の氏名と走順及びアスリートビブスナンバーを所定のオーダー用紙に記入し、競技者係に提出する。その締め切り時刻は第 1 組招集完了時刻の 60 分前とする。決勝についても必ず提出する。但し、メンバーの変更は 2 名以内とする。(競技規則 170 条 10)

(3) 招集完了時刻は、プログラムの競技日程に記載された通りとする。招集完了時刻に遅れたチームは、欠場したもののみなす。

(4) やむを得ず欠場する場合は、「欠場届」を招集所で受け取り、必要事項を記入の上、招集完了時刻までに競技者係に提出する。

4. アスリートビブス (ナンバーカード) について

(1) アスリートビブス (ナンバーカード) は主催者が配布したもの (胸・背用 2 枚) を使用し、配布された大きさのままユニフォームに固定する。第 4 走者は、写真判定用の腰ナンバー標識 (2 枚) を招集時に受け取り、出発までに左右腰部やや後方に付ける。腰ナンバー標識は終了後、回収は行わないので各自持ち帰ることとする。

(2) アスリートビブスとプログラムの配布については次のように行う。

・ 配布場所 : 日産スタジアム正面玄関前 ※三密を避けるためチーム関係者 1 名での受付。

・ 配布時間 : 10 月 15 日 (木) 11:00～17:00

10 月 16 日 (金) 7:30～17:00

10 月 17 日 (土) 7:30～17:00

10 月 18 日 (日) 7:30～12:00

5. 競技場内への入退場について

(1)トラック競技出場者の入退場

① 招集所から競技者係の誘導により競技場所に入場する。

② フィニッシュ後、それぞれ競技場内の通路を利用してスタート地点へ戻り、マラソングート (100m スタート地点後方) から退場する。

③ 予選は、主催者が用意したビニール袋に荷物を入れスタート地点に置いておく。

④ 決勝については、主催者により荷物を正面玄関中央ホールに運搬する。

⑤ 決勝において 1～8 位の入賞チームは、入賞者係によってインタビュー室に誘導される。

6. 競技の抽選及び番組編成について (レーン順)

(1) 予選・決勝の組み合わせ及び全競技のレーン順は、競技規則第 166 条・第 167 条により主催者が公平に決める。

(2) レーン順は、プログラム記載のナンバーの左に数字で示す。

(3) 決勝のレーン順は、招集所付近 (2 階外周路 柱番号 273～275) に掲示する。

(4) タイムにより次のラウンドに進むチームの決定について、同記録の場合は、写真判定員主任が 0.001 秒単位の時間を判定し

で決定する。それでも決まらない場合は、当該のチーム代表者又は代理人による抽選とする。（競技規則第 167 条）

7. 競技及び競技方法について

- (1) 計時は写真判定装置を使用する。
- (2) スタートは競技規則第 162 条 6・7 により、1 回目から不正スタートしたチームは失格とする。
スターターの合図は英語 “On your marks” (オン・ユア・マークス) “Set” (セット) とする。
- (3) 競技運営上 9 レーンを使うこともある。
- (4) リレーの各走者は、同一のユニフォームでなければならない。
- (5) 4 × 100m リレーの第 2・第 3・第 4 走者は、出発係から渡されたマーカーを 1 ヶ所使用することができる。渡されたマーカー以外の使用は認めない。

8. 競技用靴について

- (1) トラック競技においては、WA 改訂規則を適用する。
- (2) 規定外シューズ使用者の扱いについて「失格扱い」とする。
※レース前に確認した場合は出場を認めない、招集所で確認できなかった、あるいは事後に確認された場合は記録抹消の扱いとする。

9. 抗議について

抗議は、競技規則第 146 条に従って定められた時間内に、TIC を通じて、監督が口頭で審判長（大会本部に申し出る）に行う。さらに、この裁定に不服の場合は預託金（1 万円）を添え、当該総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、この裁定は最終の決定となる。

10. 表彰について

各種目とも入賞は 8 位とする。各種目の優勝チームならびに 2 位、3 位チームには表彰台で賞状とメダルを授与し、4 位チーム以下は正式、発表 30 分以降に TIC にて受け取ること。

11. ドーピング検査について

ドーピングを指名された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受ける。

(1) ドーピングコントロール

ワールドアスレティックス アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートのコピーなどを持参すること。

(2) TIC 申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は「治療使用特例 (TUE)」の申請を行わなければならない。

詳細については、(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>) 日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ 又は (<http://www.playtruejapan.org/>) 日本アンチ・ドーピング 機構ホームページを確認する。

(3) 18 歳未満の競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程により、18 歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ① 大会に参加する 18 歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持し、携帯すること。 (<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>) から、同意書をダウンロードすることが出来る。
- ② 18 歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にて NFR (陸連医事代表) に提出すること。提出は未成年時に 1 回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである

事を NFR に申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後 7 日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

12. その他

- (1) コーチ ID カードは各参加団体に 2 枚発行する。(ただし、男女で出場している参加団体には 4 枚まで発行する。)
- (2) 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者が行うが、以降の責任は負わない。
- (3) 商標等の規定について

商標等の規定については、「競技会における広告および展示物に関する規程」に違反したものについては主催者で処置する。

国内適用

《学校以外》

- ・最大で下記まで表示できる
- ・登録所属名 / ロゴは当面、スポンサー名 / ロゴでも可とする。
- ・クラブ名とスポンサーは同じ会社の別のサービス名でも可とする。
- ・上半身と下半身で別のスポンサー名 / ロゴを表示することはできない。
 - ①上半身について
前 : スポンサー名 / ロゴ × 1 (40cm² 以内 高さ 5cm 以内) + 登録所属名 / ロゴ × 1 (高さ 5cm 以内、幅制限なし)
後 : 登録所属名 / ロゴ × 1 (高さ 4cm 以内、幅制限なし)
 - ②下半身について
スポンサー名 / ロゴ × 1 + 登録所属名 / ロゴ × 1 (それぞれ 40cm² 以内、高さ 5cm 以内)

《学校》

- ・最大で下記まで表示できる
- ・上半身と下半身で別のスポンサー名 / ロゴを表示することはできない。
 - ①上半身について
スポンサー名 / ロゴ (40cm² 以内 高さ 5cm 以内) × 1 + 学校名 / ロゴ (大きさ制限なし) を前後 1ヶ所ずつ
 - ②下半身について
スポンサー名 / ロゴ × 1 + 学校名 / ロゴ × 1
(スポンサー名 / ロゴは 40cm² 以内 高さ 5cm 以内、学校名 / ロゴは制限なし)
 - ③競技中に競技者が使用する他のアパレル (靴下 (膝丈の靴下を含む)、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンド、前腕バンドなど) のメーカーの名前 / ロゴは、1つ表示することができる。このような表示の最大サイズは最大 6cm² で、最大の高さは 3cm。競技中に競技者によって使用されるその他の衣類 (ヘッドギア・帽子・ヘッドバンド・手袋・メガネ・サングラス・リストバンド等)
 - ④バッグ
すべてのバッグ (タグとラベルを含む)
 - ・製造会社名 / ロゴを表示できる。最大の大きさは 40cm²、最大の高さ 5cm
 - ・もしくは競技者スポンサー名 / ロゴは 2つ表示できる。最大の大きさは 40cm²、最大の高さ 5cm
 - ・あるいは競技者名 / 競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ
- (4) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意する。
- (5) 遺失物については大会庶務係で保管する。保管期限は 10 月 18 日 (日) 競技会終了までとする。
- (6) 記録はその都度発表するが、WEB 上でも確認できる。※「QR コード」
- (7) 横断幕等の設置はできません。
- (8) スタンドにおけるテント・シートの使用は禁止する。スタンド席でのロープ等を使用する場所取りも禁止する。また、シート禁止区域には敷かないようにすること。

(9) 提出書類等は次の通りとする。

| 提出書類 | 提出場所 |
|------------|------|
| ① 欠場届 | 招集所 |
| ② リレーオーダー届 | 同上 |
| ③ 上訴申立書 | TIC |
| ④ 記録証明交付願い | 同上 |

(10)「記録証明書」を希望する競技者は、TICに500円を添えて申し込む。

(11)更衣は指定された場所で行い、貴重品は各自で保管する。

(12)競技場内へ持ち込める飲み物は「水」のみとする。

13. 練習会場の使用について（練習会場注意事項）

(1) 主競技場（日産スタジアム）

① 10月15日（木）は、トラック競技（ハードルを除く）のみ開放する。開放時間等は、『練習会場使用日程』にて確認する。

②ウォーミングアップは、第1曲走路入口～第2曲走路9レーン出口までの外側芝生部分で行う。

フィールド内の「芝」部分への立ち入りは禁止とする。

③競走路の使用は、以下の通りとする。なお、逆走は固く禁止する。

* 1～2レーン …… 800m以上の種目

* 3～5レーン …… 100m～400m

* バック側（第1曲走路～第2曲走路）※日本選手権、全国高等学校リレー練習

* メイン直走路 …… スタートブロック設置

※ ジョギング等はトラックの外側部分を使用する。

④主競技場での飲食は一切禁止とし、ゴミはすべて持ち帰る。

(2) 補助競技場（日産フィールド小机：2階外周路 柱番号275 横階段を降りる。）

① 10月15日（木）は、ハードル、中学生のリレー、跳躍競技のみ開放する。

②ウォーミングアップは、第1曲走路入口～第2曲走路8レーン出口までの外側芝生部分で行う。

フィールド内の「芝」部分への立ち入りは禁止とする。

③競走路の使用は、以下の通りとする。なお、逆走は固く禁止する。

* 1～2レーン …… 800m以上の種目

* 3～5レーン …… 100m～400m

* 6～8レーン …… ハードル種目

* バック側（第1曲走路～第2曲走路） …… リレー練習 ※中学生

* メイン直走路 …… スタートブロック & ハードルの設置

④補助競技場における練習は、種別の競技時間に合わせて「優先使用時間帯」を設けることがある。

⑤私物をレーン上に置く等で、レーンを占有しない。

練習会場と使用日程について

| 練習会場 | 主競技場 | 補助競技場 | 投てき練習場 |
|----------|--|---|-------------|
| 条件 | 全天候型 | 全天候型 | グラウンド |
| トラック | ◎ | ◎ | × |
| 跳躍 | 10/15(木) 棒高跳 | ◎ | × |
| 投てき | × | × | ◎ |
| 10/15(木) | 11:30~17:00 ハードルは練習できない リレーは選手権・高校のみ | 11:30~17:00 トラック種目はハードル種目 リレーは中学生のみ | 11:30~16:00 |
| 10/16(金) | × | 7:30~17:00 | 8:00~16:30 |
| 10/17(土) | × | 7:30~17:00 | 8:00~16:30 |
| 10/18(日) | × | 7:30~16:00 | 8:00~12:30 |